

# 基本計画における数値目標

参考資料 2

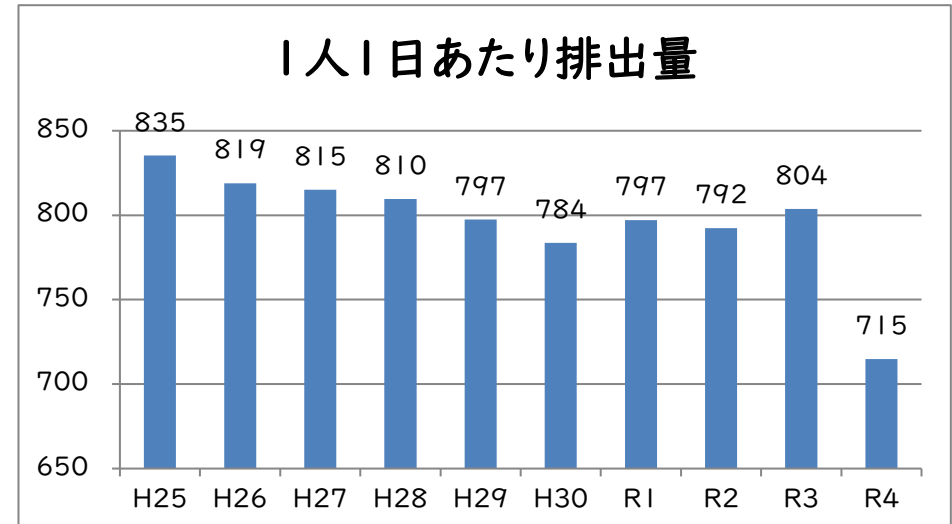
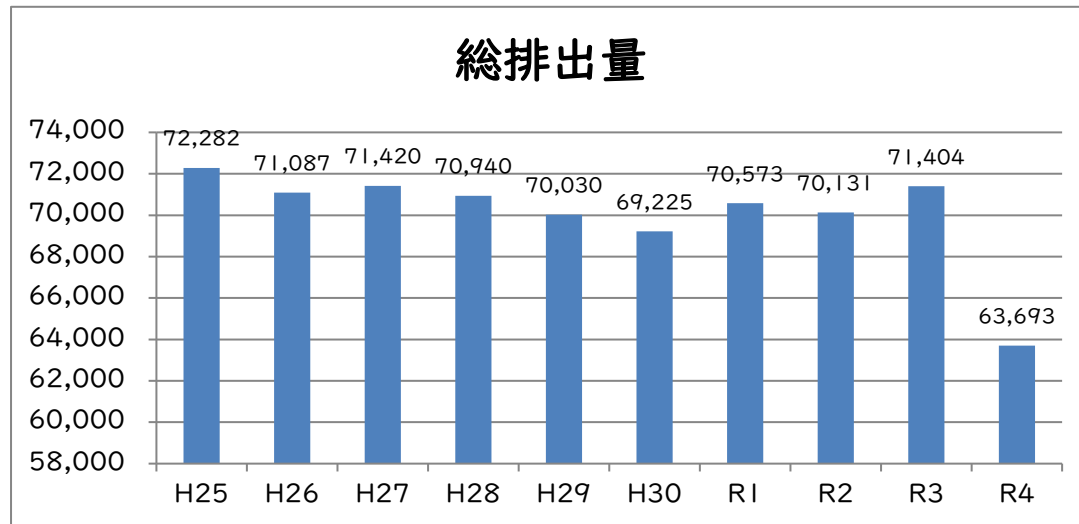
## 1. ごみ処理基本計画

### (1) ごみの年間総排出量

### (2) 市民1人1日当たりのごみ排出量

基本目標		前期計画					後期計画						
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (中間)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (最終)
ごみの年間総排出量	年度ごとの目標 (t/年)	74,948	74,707	74,754	74,241	74,019	70,990	70,531	70,096	69,571	61,095	60,629	60,044
	年度ごとの実績 (t/年)	72,282	71,087	71,420	70,940	70,030	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693		
市民1人1日当たりの排出量 (ごみ排出量/365日/人口)	年度ごとの目標 (g/人年)	866	861	856	852	849	814	806	802	797	694	688	685
	年度ごとの実績 (g/人年)	835	819	815	810	797	784	797	792	804	715		

### 【現状の課題】



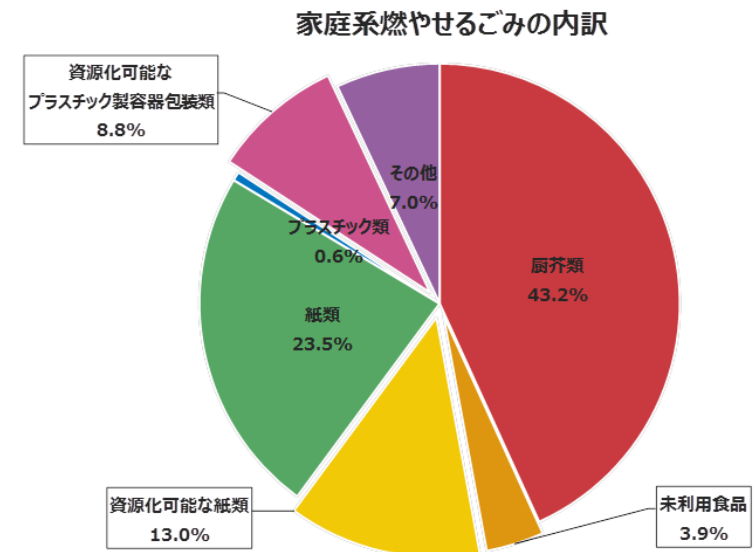
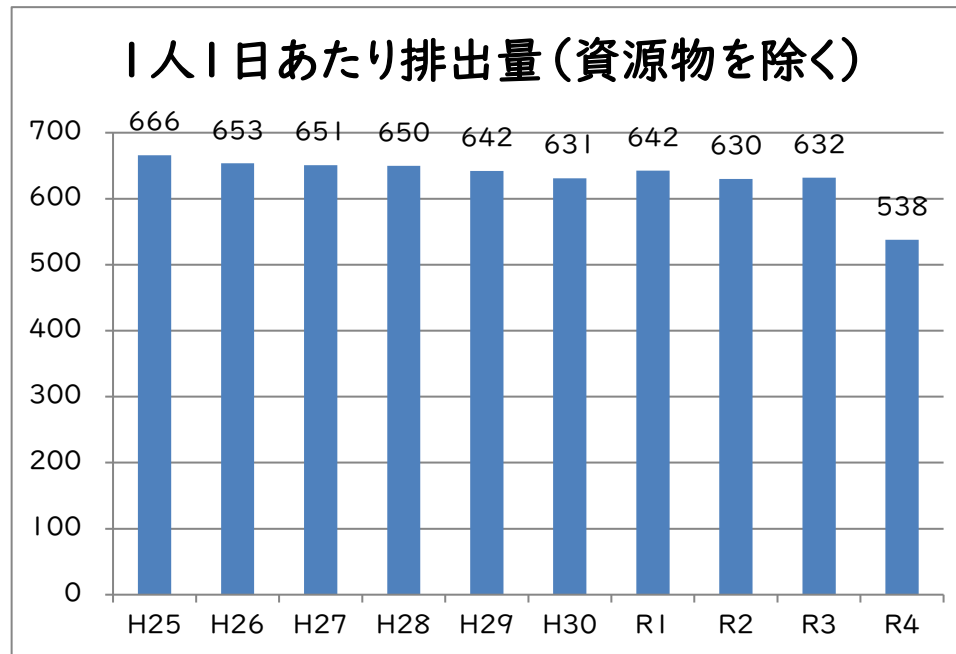
特になし（令和4年4月から開始した「ごみ有料化」に伴い、ごみの総排出量は大幅に減少している。）

### 【今後の方向性】

「ごみ有料化」の減量効果を検証しつつ、更なるごみ減量に向け各種施策を進めていく。

### (3) 市民1人1日当たり資源物を除く排出量

基本目標		前期計画					後期計画						
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (中間)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (最終)
市民1人1日当たり資源物を除く排出量 ( (ごみ排出量-資源物量) /365日 /人口)	年度ごとの目標 (g/人年)	655	642	629	589	576	630	620	614	607	511	506	504
	年度ごとの実績 (g/人年)	666	654	651	650	642	631	642	630	632	538		



#### 【現状の課題】

未利用食品やリサイクルできる資源物（古紙類やプラスチック製容器包装類）が、きちんと分別されずに燃やせるごみとして排出されている実態がある。

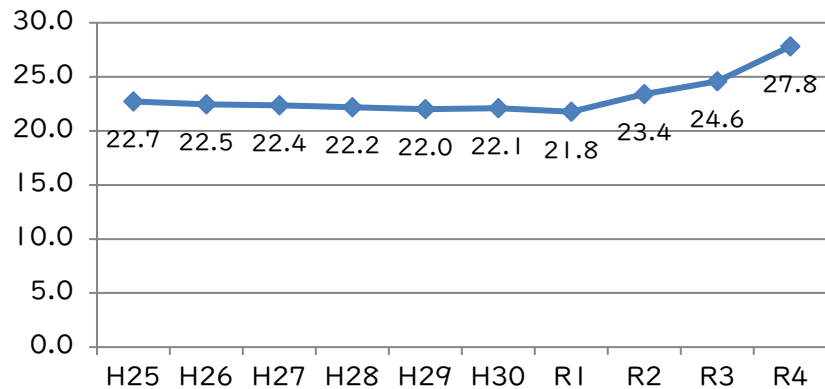
#### 【今後の方向性】

フードドライブの実施、プラスチック製容器包装類や古紙類の適正分別に関する啓発をこれまで以上に強化し、ごみの減量を進めていく。

#### (4) リサイクル率

基本目標		前期計画					後期計画						
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (中間)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (最終)
リサイクル率 (資源化量/ごみ排出量×100)	年度ごとの目標 (%)	26.3	27.4	28.5	33.0	34.3	25.3	26.1	27.0	27.8	30.9	31.3	31.9
	年度ごとの実績 (%)	22.7	22.5	22.4	22.2	22.0	22.1	21.8	23.4	24.6	27.8		

### リサイクル率



#### 資源物の排出量 (単位: t)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
びん	1,879	1,855	1,891	1,848	1,803	1,734	1,701	1,779	1,788	1,714
かん	748	729	716	704	687	681	699	752	750	690
ペットボトル	720	719	707	703	689	721	724	758	788	823
古紙類	7,830	7,669	7,537	7,230	6,952	6,778	6,804	6,905	6,985	7,109
衣類・布類	1,021	995	1,081	1,040	1,052	1,072	1,161	1,370	1,424	1,336
プラスチック製 容器包装類	2,321	2,247	2,288	2,322	2,299	2,351	2,440	2,612	2,759	3,340
廃食用油	75	78	80	81	86	84	87	94	79	70
金属類	69	66	73	67	69	67	69	79	68	52
使用済小型家電	1	2	3	3	3	13	20	26	26	21
剪定枝	0	0	0	0	0	0	0	0	599	607
	14,664	14,360	14,376	13,998	13,640	13,501	13,705	14,375	15,266	15,763

#### 【現状の課題】

ペットボトルとプラスチック製容器包装類のリサイクルは継続していく一方で、令和4年4月施行の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(以下：プラ新法)」を踏まえながら製品プラスチックなどの全体量を把握し、リサイクルの方策を検討することが必要である。

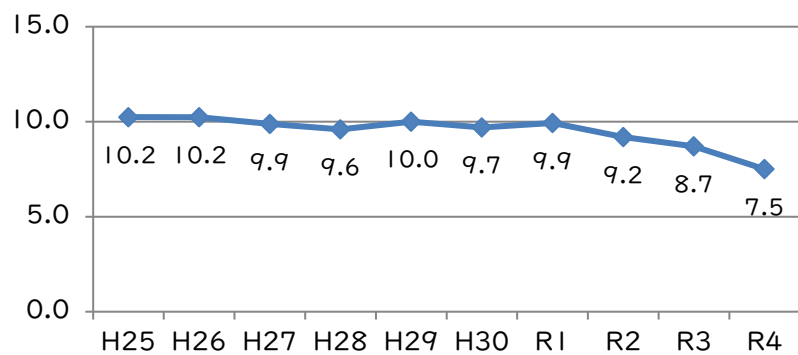
#### 【今後の方向性】

プラスチック製廃棄物についてのリサイクルの仕組みを設けるうえで、プラ新法を踏まえた先進的な自治体の動向の情報収集に着手する。

## (5) 最終処分率

基本目標		前期計画					後期計画						
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (中間)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (最終)
最終処分率 (最終処分量/ごみ排出量×100)	年度ごとの目標 (%)	10.1	9.9	9.7	8.9	8.6	9.4	9.0	8.5	8.1	7.5	7.2	6.5
	年度ごとの実績 (%)	10.2	10.2	9.9	9.6	10.0	9.7	9.9	9.2	8.7	7.5		

### 最終処分率



(単位：t)

	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1	R2	R3	R4
ごみ排出量(a)	72,282	71,087	71,420	70,940	70,030	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693
焼却処理量(b)	56,910	56,199	56,624	56,451	55,750	55,091	56,310	55,506	55,432	47,949
残渣量	焼却灰の再資源化(c)	1,063	1,088	1,143	1,244	1,085	1,089	1,054	1,796	1,937
	最終処分量(d)	7,405	7,276	7,063	6,791	6,978	6,714	7,018	6,435	4,779
	合計(e)=(c+d)	8,468	8,364	8,206	8,035	8,063	7,803	8,072	8,231	6,716
	焼却灰の再資源化の割合(c/e×100)	12.6%	13.0%	13.9%	15.5%	13.5%	14.0%	13.1%	21.8%	28.8%
焼却残渣率(e/b×100)	14.9%	14.9%	14.5%	14.2%	14.5%	14.2%	14.3%	14.8%	14.0%	14.0%
最終処分率(d/a×100)	10.2%	10.2%	9.9%	9.6%	10.0%	9.7%	9.9%	9.2%	8.7%	7.5%

### 【現状の課題】

焼却灰の再資源化には、多額の経費を要することから、焼却対象となるごみの減量が必要である。

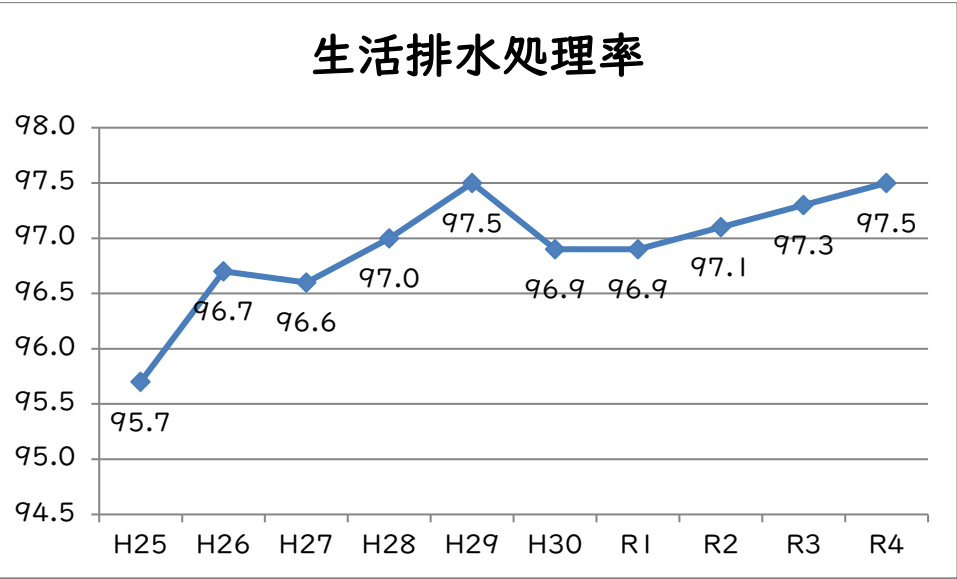
### 【今後の方向性】

厳しい財政状況の中、最終処分場の使用期限を見据え、ストック資産の有効活用も考慮しながら、計画的に焼却灰の再資源化を進めていく。

2. 生活排水処理基本計画

(1) 生活排水処理率

基本目標		前期計画					後期計画						
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(中間)	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(最終)
生活排水処理率	年度ごとの目標(%)	95.7	96.1	96.5	96.9	97.2	97.6	97.8	98.0	98.2	97.5	97.7	97.9
	年度ごとの実績(%)	95.7	96.7	96.6	97.0	97.5	96.9	96.9	97.1	97.3	97.5		



【現状の課題】

特になし（公共下水道の計画的な整備、公共下水道への接続促進や合併処理浄化槽の普及促進により、生活排水処理率は順調に推移している）

【今後の方向性】

奨励金・補助金制度の活用により、公共下水道への接続促進、合併処理浄化槽の普及促進を行うとともに、各種啓発活動を実施し、生活排水処理率の向上に努める。